

2014年12月16日
東日本旅客鉄道株式会社

昇降式ホーム柵の試行導入について

JR東日本では、ホームでのお客さまの転落、列車との接触などの防止対策の一環として、山手線等へのホームドア導入を進めています。

当社ではこのたび、新たな方式として昇降式のホーム柵を八高線拝島駅に試行導入することとしました。

今後もホームにおけるお客さまの安全対策をはじめ、グループ安全計画2018に基づいた施策を着実に進めてまいります。

1. 導入箇所

八高線拝島駅上りホーム

編成両数分（4両編成）を整備します。

2. 導入時期

2015年3月予定

3. 昇降式ホーム柵の特徴



拝島駅(5番線ホーム)



今回導入するホーム柵の同型試験機

(写真提供: 榎高見沢サイバネティックス)

- ・列車の発着に応じて3本のバーが昇降します。
- ・山手線のホームドアと比較して軽量であることからコストダウンが見込まれます。
- ・開口部を大きく取るため、扉位置が異なる車種などにも対応が可能になります。